

《担当者名》濱田 淳一 jun1thamada@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

人体構造機能学 ~ と合わせて、解剖・生理学の知識と考え方を会得し、人体の構築と機能の恒常性を維持する機構の巧妙さを学ぶ。このシリーズの講義は、今後開講される病理学、病態学、看護学などを習得する上で基礎となるものである。

【学修目標】

人体を構成している器官、組織、細胞、分子について学び、人体の基本構造をマクロからミクロの視点で理解する。それを踏まえた上で、人体構造機能学 では、消化器、呼吸器および循環器の構造と機能を正しく理解し、人の生きるしくみにどのように関わっているのか説明できるようになることを目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	序論 1	人体を構成するパーツ	濱田
2	序論 2	細胞の構造と機能	濱田
3	序論 3	組織の構造と機能	濱田
4	消化器 1	口腔・咽頭の構造と機能	濱田
5	消化器 2	食道・胃の構造と機能	濱田
6	消化器 3	小腸・大腸の構造と機能	濱田
7	消化器 4	肝臓・胆のう・膵臓の構造と機能	濱田
8	呼吸器 1	鼻腔・喉頭の構造と機能	濱田
9	呼吸器 2	気管・気管支の構造と機能	濱田
10	呼吸器 3	肺の構造と機能(1)	濱田
11	呼吸器 4	肺の構造と機能(2)	濱田
12	循環器 1	心臓の構造と機能(1)	濱田
13	循環器 2	心臓の構造と機能(2)	濱田
14	循環器 3	血管の構造・分布と機能	濱田
15	循環器 4	リンパ系・胎生期循環	濱田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学：人体の構造と機能(1) 坂井建雄・岡田隆夫・宇賀貴紀共著(医学書院)(デジタル教科書)

【参考書】

からだが見える(メディックメディア)

【備考】

Google Classroomを利用して学習資料などを提示する。授業ごとに小テストをGoogle Formを用いて実施するとともに出席状況を管理する。

【学修の準備】

- ・ 次回の授業範囲を教科書で熟読した上で疑問点を整理しておくこと(30分)。
- ・ 講義終了後は、配布プリントを見直すとともに復習問題がある場合は次回までに解いておくこと(30分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。